

2024年1月26日(金)
愛知県建設局道路建設課
企画・環境対策グループ
担当 佐々木、笥
内線 2700、2703
ダイヤル 052-954-6541

名古屋三河道路（知多～西三河）の計画に関する 第2回アンケート調査の実施について

名古屋三河道路は、知多地域及び西三河地域を東西に貫く高規格道路であり、名古屋港や中部国際空港へのアクセス性を高めるほか、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能により、国土強靱化にも資する重要な道路です。

2022年3月に国の名古屋都市圏環状機能検討会において、西^{にしちた}知多道路から名^{めいほう}豊道路までを優先整備区間に設定し、愛知県で路線検討を実施する方向性が示されました。そこで本県では、昨年度から概略ルート帯や道路構造などの概略計画を段階的に取りまとめる構想段階評価を進めているところです。

この度、その検討に当たり、地域の皆様や道路を利用される皆様の幅広い御意見をお聴きするため、昨年12月に開催した第2回有識者委員会での助言を踏まえ、第2回アンケート調査を実施しますので、お知らせします。

対象地域にお住まいの方や道路利用者の方は調査に御協力ください。

※第1回アンケート調査結果は、2023年12月11日に公表済み。

1 調査方法等

(1) 調査対象者

- ・半田市、碧南市、刈谷市、安城市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、阿久比町、東浦町にお住まいの方、及び道路利用者

(2) 調査方法

①Web／留置方式

- ・Web：愛知県の公式Webサイトに開設する専用Webページからアンケート票に回答。
- ・留置方式：対象地域の市役所・町役場、道の駅などの公共施設に設置のアンケート票に回答。

【実施時期】2024年2月1日(木)から2024年3月29日(金)まで

②郵送

- ・対象地域にお住まいの方から無作為抽出により約83,000名の方にアンケート票

等を送付して実施。

【実施時期】2024年2月中旬頃に順次発送します（回答期限：2024年3月29日（金））

③オープンハウス／インタビュー調査

- ・オープンハウス：パネルやリーフレット等の資料を用い、オープンハウス参加者と計画関係者による気軽に直接的な対話を通じて御意見を確認する形式によりアンケート調査を実施。
- ・インタビュー調査：道路利用者にインタビュー形式でアンケート調査を実施。

【実施時期】2024年2月～2024年3月予定

（詳細な開催日・場所は、別途道路建設課 Web ページにてお知らせします。）

※詳細は資料1（調査方法の詳細）を御確認ください。

2 調査の概要

名古屋三河道路のルートを考える際に、知多・西三河南部地域にとって重要だと思う道路の役割や機能等について、設定した質問項目に対し、「強くそう思う」から「全くそう思わない」までの4段階で選択などのアンケート調査を実施します。

※詳細は資料2及び資料3を御確認ください。

3 その他

アンケート調査の取りまとめ結果については、名古屋三河道路有識者委員会（第3回）で公表します。

※開催時期は未定。決定次第お知らせします。

4 配布資料

資料1：調査方法の詳細

資料2：アンケートの説明資料（対象地域にお住まいの方などに配布）

資料3：アンケート票（対象地域にお住まいの方などに配布）

5 問合せ先

愛知県建設局道路建設課 企画・環境対策グループ（佐々木、寛）

電 話：052-954-6541

メール：dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp

(参考)

・名古屋都市圏環状機能検討会

会 長：中部地方整備局 愛知国道事務所長

会 員：中部地方整備局 名古屋国道事務所長始め 11 名

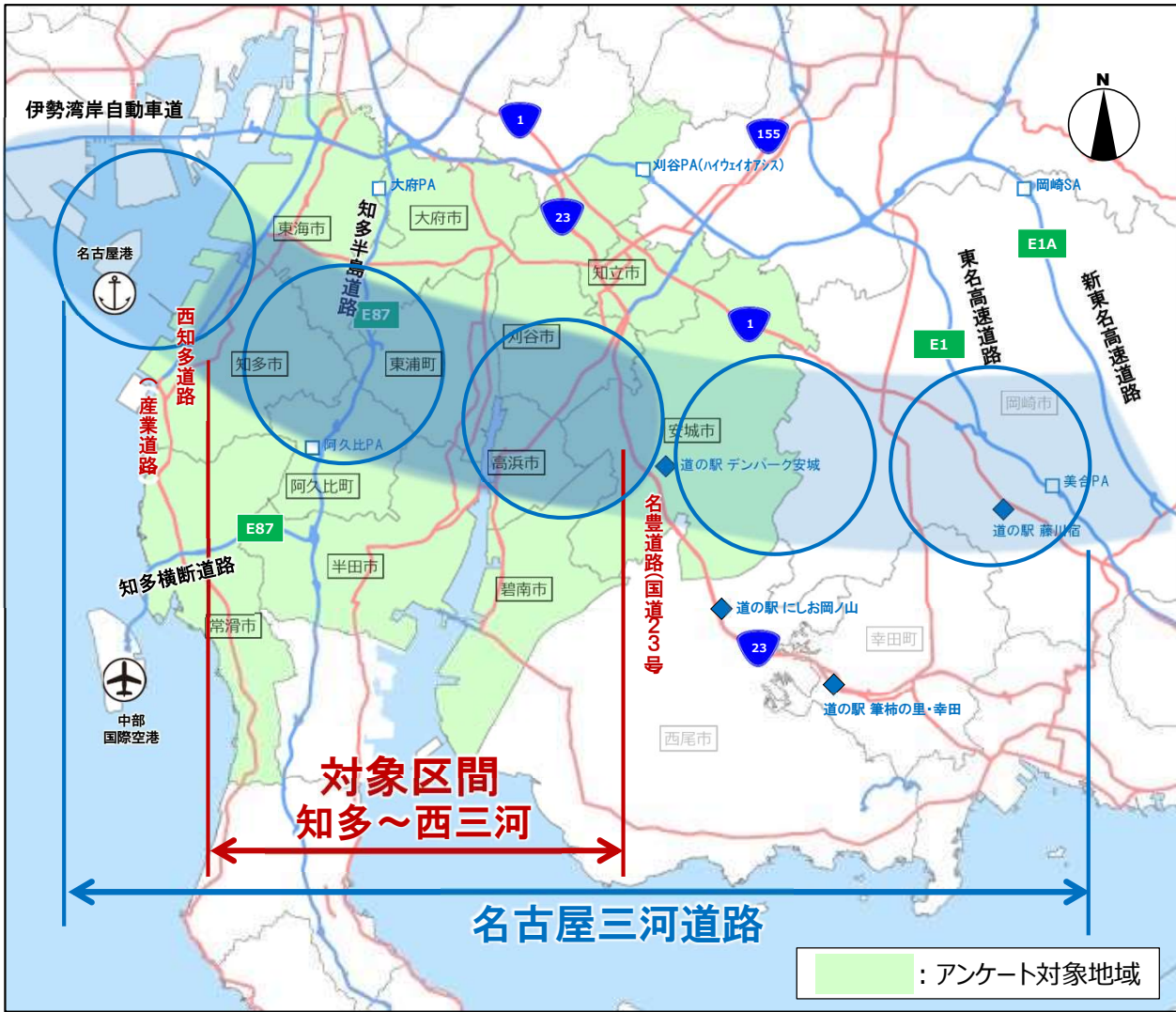
事務局：中部地方整備局 愛知国道事務所 計画課

・名古屋三河道路有識者委員会

委員長：中村 英樹（名古屋大学大学院 環境学研究科 教授）

委 員：岡田 泰明（名城大学大学院 理工学研究科 教授）始め 9 名

事務局：愛知県 建設局 道路建設課



調査対象	調査方法
対象地域にお住まいの方	1) 半田市、碧南市、刈谷市、安城市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、阿久比町、東浦町にお住まいの方に送付するアンケート調査票に回答。 (上記 1 2 市町の中から無作為抽出で送付されます。) ※同封のチラシの二次元コードからアクセスしてWebでの回答も可能です。
対象地域にお住まいの方/ 道路利用者	1) 愛知県Webページ (https://www.pref.aichi.jp/site/nagoyamikawadouro/)にてアンケート調査票に回答。 2) 半田市、碧南市、刈谷市、安城市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知立市、高浜市、阿久比町、東浦町の各市役所・町役場、道の駅や対象区間近隣SA/PA、中部国際空港に設置のアンケート調査票に回答。 «道の駅»デンパーク安城、にしお岡ノ山、藤川宿、筆柿の里・幸田 «SA/PA»刈谷PA (伊勢湾岸)、大府PA (知多半島)、阿久比PA (知多半島)、美合PA (東名)、岡崎SA (新東名) ※ポスター等の二次元コードからアクセスしてWebでの回答も可能です。 3) 対象地域において、オープンハウスを開催し、アンケート調査票に回答。 【実施日時・場所】 別途ホームページにてお知らせします。
道路利用者	1) 道の駅や対象区間近隣PAにおいて、インタビュー形式でアンケート調査票に回答。 【実施個所】大府PA、阿久比PA (知多半島)、道の駅にしお岡ノ山、道の駅 筆柿の里・幸田

名古屋三河道路(知多～西三河)の計画に関する 第2回アンケート

本アンケート調査は、**名古屋三河道路(知多～西三河)**の計画を作るにあたり、**地域のみなさまのご意見をお聴きするものです。ご協力をお願いします。**

※本アンケート調査票は、アンケート対象地域にお住まいの方を対象に、無作為抽出により送付しています。そのため、第1回アンケートの調査票が届いていない方にもアンケートが届くことがあります。

○これまでの検討状況

- 知多・西三河南部地域における交通課題と名古屋三河道路に求める役割や機能について、第1回アンケート調査を行い、約2万6千通のご意見をいただきました。

(第1回アンケート調査の結果は本紙P.2～P.3【資料①】をご覧ください。)

- みなさまからのご意見などを踏まえ、政策目標(名古屋三河道路が果たす役割や機能)を設定し、政策目標を達成するための概略ルート・構造等の検討を行い3つのルート帯案を設定しました。

○今回のアンケートでお聴きすること

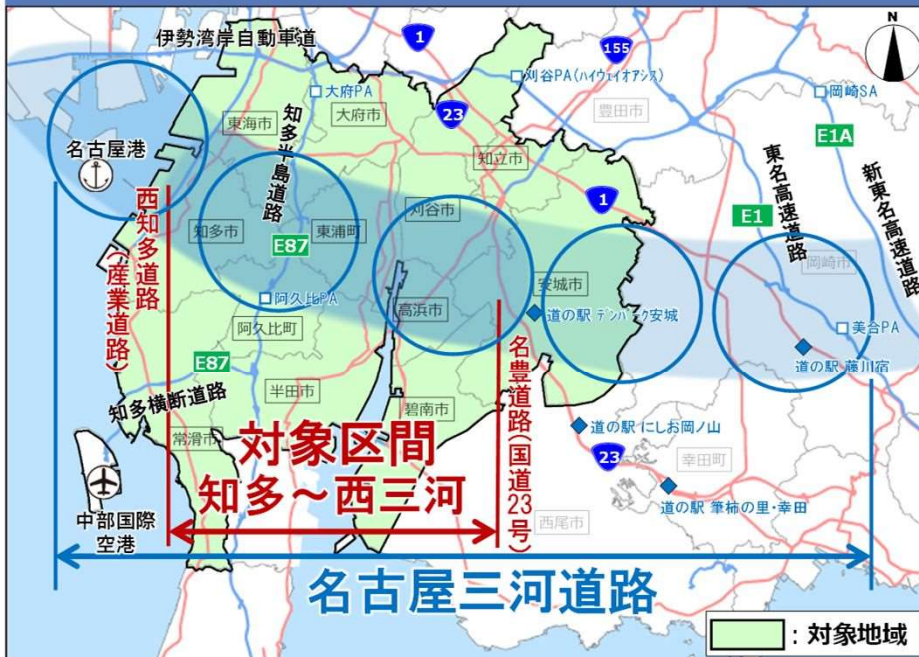
政策目標を達成するための3つのルート帯案(A案～C案)について、

- ・ **重要だと思ふ道路の役割や機能**
- ・ **適切なインターチェンジ配置とするために配慮すべきと思うこと**

などをお聴きします。

(本紙P.4～P.5の【資料②】、P.6～P.7の【資料③】および同封の【別紙】をご覧ください。)

アンケートの対象地域と対象区間



名古屋三河道路ってどんな道路?

A. 名古屋三河道路は知多地域と西三河地域を通るサービスレベルの高い道路※です。

道路ができるとうなるの?

A. 道路ができることによって次のような効果が期待できます。

- ・ 名古屋港や中部国際空港への移動が便利になる
- ・ 周辺道路の渋滞が減少する
- ・ 周辺道路の交通事故が減少する
- ・ 災害に強い道路ネットワークが形成される

名古屋三河道路に関する詳しい情報は、愛知県のWebサイトをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/site/nagoyamikawadouro/>



※伊勢湾岸自動車道、知多半島道路、名豊道路などの走行速度が高い道路

第1回アンケート調査の結果と 政策目標(名古屋三河道路が果たす役割や機能)の設定

【資料①】

第1回アンケート調査の結果

約26,000通の回答をいただき、地域の交通課題、道路に求める役割や機能について、みなさまのご意見をとりまとめました。

	産業	渋滞	安全	防災
想定される地域の交通課題	<p>知多地域と西三河南部地域をスムーズに結ぶ道路が少なく、移動が不便になっています。</p> 	<p>境川と衣浦港では、橋が少なく、周辺に交通が集中することから交通渋滞が発生しています。</p>  <p>平成大橋(境川)の渋滞状況</p>	<p>地域内に、交通事故が多発している箇所があります。</p>  <p>出典：交通事故統計データ(2017～2020)</p>	<p>災害時に道路が通行できなくなり、救援活動や支援物資輸送が困難になる恐れがあります。</p>  <p>出典：マップあいち</p>

アンケート調査を実施

有効回答数：25,877通

設問	産業	渋滞	安全	防災
地域内の道路網にはどのような課題があると思いますか	<p>東西方向の移動が不便であること</p> <p>45% 81% 36% 3% 5%</p>	<p>交通渋滞がよく発生すること</p> <p>57% 86% 29% 2% 5%</p>	<p>交通事故の危険性が高いこと</p> <p>26% 70% 44% 4% 5%</p>	<p>災害時に救援活動などが困難になるおそれがあること</p> <p>44% 82% 38% 3% 5%</p>
名古屋三河道路に求める役割や機能は何ですか	<p>東西方向の移動が便利になること</p> <p>62% 90% 28% 4%</p>	<p>周辺道路の交通渋滞が減少すること</p> <p>65% 91% 26% 1% 4%</p>	<p>周辺道路が安全に移動できるようになること</p> <p>51% 87% 36% 2% 4%</p>	<p>災害時に救援活動などがすみやかに行えるようになること</p> <p>59% 90% 31% 1% 4%</p>

凡例： 強くそう思う (赤) どちらかというと思う (オレンジ) どちらかというと思わない (青) 全くそう思わない (水色) 未回答 (グレー)

政策目標(名古屋三河道路が果たす役割や機能)の設定

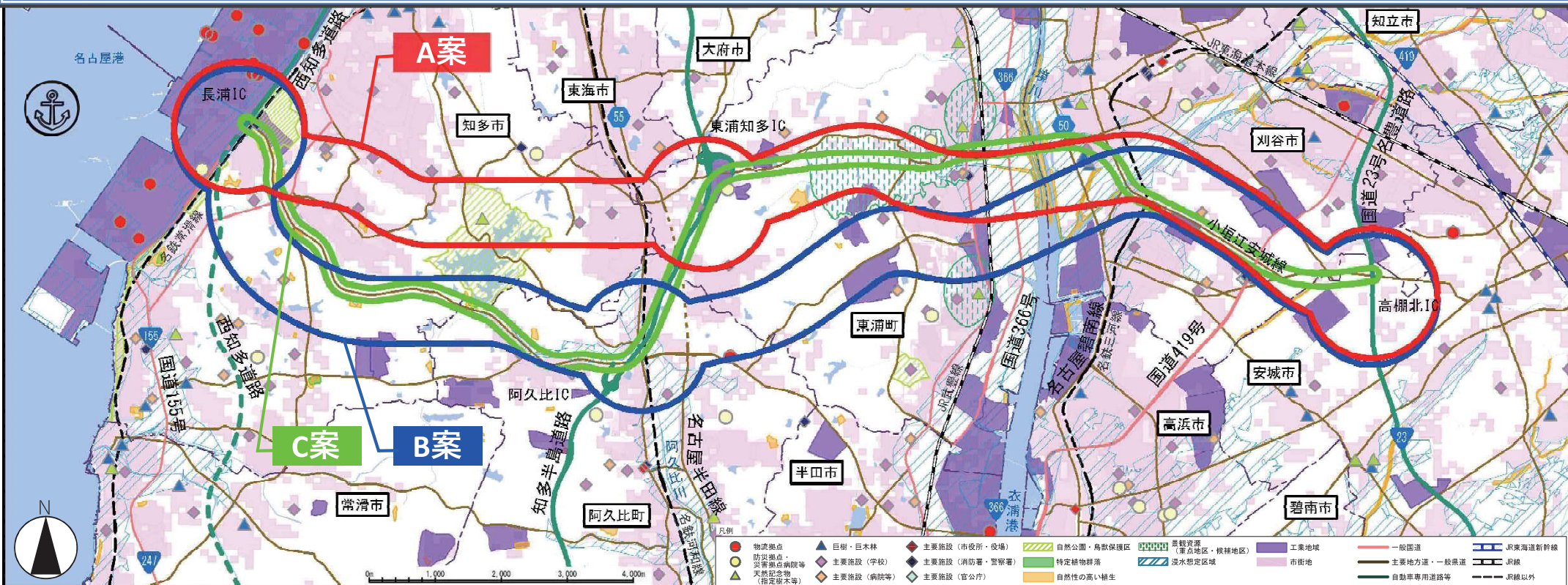
アンケートの結果など意見聴取の結果を踏まえ、政策目標(名古屋三河道路が果たす役割や機能)を以下のとおり設定しました。

政策目標	産業	渋滞	安全	防災
<p>政策目標 (名古屋三河道路が果たす役割や機能)</p>	<p>定時性・速達性の向上による 物流網の信頼性の確保と 交流域の拡大</p>	<p>交通の円滑化</p>	<p>交通事故の減少</p>	<p>災害時にも機能する信頼性の 高い道路ネットワークの構築</p>

➡ 政策目標を達成するための複数のルート帯案を検討 (ルート帯案の詳細は、P.4,P.5をご覧ください)

政策目標を達成するための3つのルート帯案とその特長

【資料②】



評価軸	A案：別線案（北側ルート：約19km） 全線を最短で結ぶ 新たな自動車専用道路ルート	B案：別線案（南側ルート：約20km） 沿線地域の工場等へのアクセスも考慮した 新たな自動車専用道路ルート	C案：現道活用案（約23km） 既存道路を機能強化 [*] するルート ※車線数を増やす、交差点を立体化するなど
産業	①名古屋港・中部国際空港を有する知多地域と西三河地域への移動における速達性・定時性の向上 ②工業地域等の生産拠点における物流の効率化	・最短距離の自動車専用道路で結ぶことにより、移動時間が最も短縮し、信号交差点が無い場合、予定の時間に到着しやすくなる ・東西方向へのアクセスが良くなる工場等の生産拠点多く立地しており（N=約220件）、物流の効率化が図られる	・現道の交通容量の拡大により、移動時間はやや短縮し、信号交差点の数が減るため、ある程度予定の時間に到着しやすくなる ・東西方向へのアクセスが良くなる工場等の生産拠点が立地しており（N=約110件）、物流の効率化がある程度図られる
渋滞	③周辺道路の交通混雑の緩和	・自動車専用道路への交通の転換により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する高規格道路や一般道路の混雑が緩和される	・現道の交通容量の拡大により、境川・衣浦港周辺を始め、並行する一般道路の混雑が緩和される
安全	④交通事故発生リスクの低減	・事故件数の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通量の減少が見込まれ、交通事故の発生リスクの低減が図られる	・事故の多い境川・衣浦港周辺の一般道路の交通がスムーズになり、交通事故の発生リスクの低減がある程度図られる
防災	⑤災害時における通行の信頼性の確保	・嵩上げ式の道路として繋がることにより、浸水リスクが回避されるなど、災害時の通行の信頼性が向上するとともに、代替路として機能する	・機能強化による浸水リスクの低減などにより、災害時の通行の信頼性がある程度向上するが、代替路としての機能は低い
	⑥地域の防災性の向上	・現在ある高規格道路へのアクセスが良くなる防災拠点等が多く立地しており（N=14箇所）、地域の防災性の向上が図られる	・現在ある高規格道路へのアクセスが良くなる防災拠点等が立地しており（N=11箇所）、地域の防災性の向上がある程度図られる
配慮すべき事項	⑦生活環境（大気・騒音等）への影響	・集落・市街地部など、生活環境への配慮が必要と想定される区間があり、大気質や騒音などの影響がある程度懸念される	・沿道の土地利用が比較的進展しているため、生活環境への配慮が必要となる区間が他案に比べ多く存在し、大気質や騒音などの影響が懸念される
	⑧自然環境（動物・植物・生態系等）への影響	・自然公園エリア等を通る可能性があり、田園地域を通る区間は最も長く、自然環境への影響が懸念される	・沿道の土地利用が比較的進展しているため、自然環境への影響の懸念は最も小さい
	⑨景観等（景観資源）への影響	・景観の保全上重要な地域を一部通過するため、景観等の影響が懸念される	・景観の保全上重要な地域を通過している現道を機能強化・活用するため、景観等への影響がある程度懸念される
	⑩建設コスト	約3,200億円～3,800億円	約2,300億円～2,800億円

【参考文献】動植物の生息又は生育、種及び生態系の状況：第4回自然環境保全基礎調査（平成7年、環境省）／第5回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査（平成13年、環境省）／第5回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）（平成12年、環境省）／第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査（平成16年、環境省）／第6回自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木林調査）（平成16年、環境省）／第6回・第7回自然環境保全基礎調査 種生調査（種生自然調査）（平成11年～、環境省生物多様性センター）／レッドデータブックあいち2020 動物編（令和2年、愛知県）／レッドデータブックあいち2020 植物編（令和2年、愛知県）／植物群落レッドデータブック（平成8年、財団法人自然保護協会）／世界自然遺産基金日本委員会）／令和4年度 愛知県鳥獣保護区等位置図（令和2年、愛知県）／マップあいち 愛知県自然環境情報マップ（令和5年調査、愛知県）／愛知県文化財マップ（埋蔵文化財・記念物）（令和5年調査、愛知県）／半田市の文化財（令和4年、半田市）／碧南市内の文化財（令和4年、碧南市）／刈谷市の文化財一覧（市指定）（令和元年、刈谷市）／安城市指定文化財リスト（令和5年、安城市）／常滑市 主な文化財（令和元年、常滑市）／東海市内指定文化財一覧表（令和5年、東海市）／【大府市】国登録、県・市指定文化財一覧表（令和5年、大府市）／知多市の文化財（令和2年、知多市）／知立市内の文化財（令和3年、知立市）／高浜市指定文化財一覧（令和5年、高浜市）／阿久比町 史跡・天然記念物（令和4年、阿久比町）／東浦町 町指定文化財（平成28年、東浦町）

【参考】名古屋三河道路(知多～西三河)の整備イメージ

整備イメージ

A案：別線案（北側ルート）

西知多道路から名豊道路までを最短で結ぶ自動車専用道ルート（約19km）



B案：別線案（南側ルート）

速達性に配慮しつつ、生産拠点へのアクセスも考慮した自動車専用道ルート（約20km）



C案：現道活用品

西知多道路から名豊道路までの現在の道路を機能強化するルート（約23km）

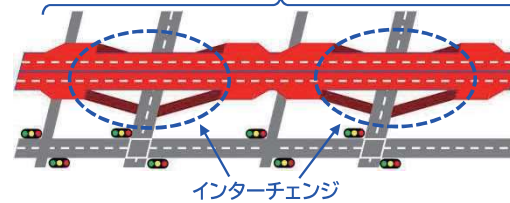


別線案と現道活用品の概要

別線案 (A案・B案) の場合

全ての交差道路と立体交差する道路を新設し、ジャンクションやインターチェンジから出入りが可能

自動車専用道路を整備



自動車専用道路の例：西知多道路(国道247号)



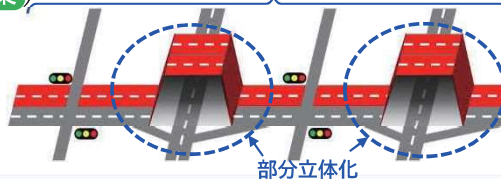
金沢IC(仮称)(完成予想図)

※ジャンクションは、西知多道路、知多半島道路、名豊道路との交差位置に設置することを想定しています。
※インターチェンジは、今後の意見聴取の結果を踏まえて、政策目標を達成するよう、適切な配置になるように検討を行います。

現道活用品 (C案) の場合

既存の一般道の車線数を増やしたり、主要な信号交差点を立体化したりするもの

車線数を増加(例:2車線⇒4車線)



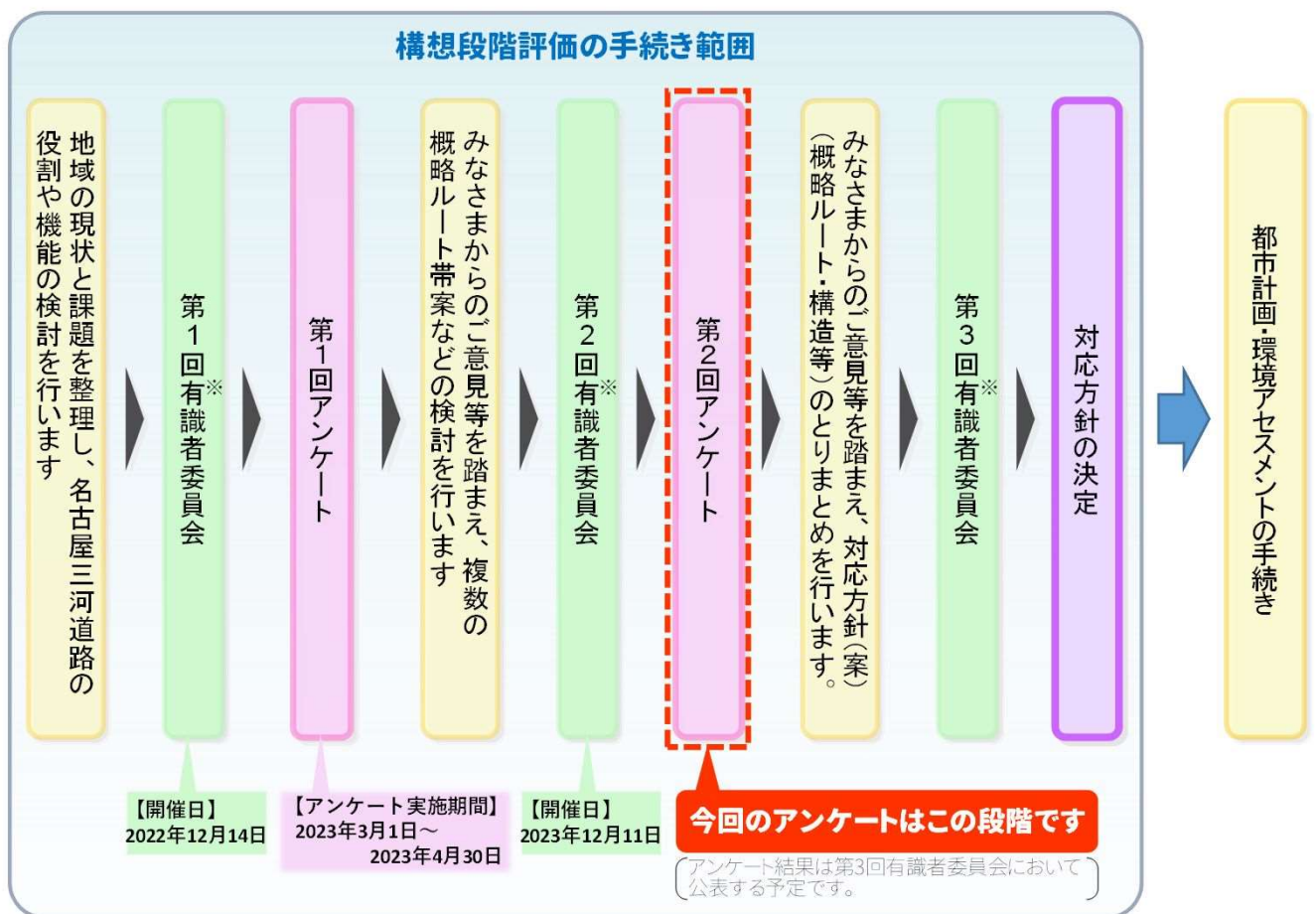
部分立体化の例:国道419号(高浜立体)



愛知県が進める手続き(構想段階評価)の流れ

愛知県では、地域のみなさまのご意見をお聴きしながら、地域の現状と課題、名古屋三河道路(知多～西三河)に求められる役割や機能を整理し、概ねのルート帯案などの検討を進めています。

今回は、第2回アンケートとして名古屋三河道路(知多～西三河)のルートを考える際に、この地域(知多・西三河南部地域)にとって重要だと思ふ道路の役割や機能などについてお伺いするものです。



アンケートのお問い合わせ先

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県建設局道路建設課 企画・環境対策グループ

☎ 052-951-0837 (受付時間/平日9:00～17:00)

✉ dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp

